

日本国際情報学会 国際開発研究部会 2021年度 第2回 研究報告会 報告書

国際開発研究部会2021年度第2回研究報告会を下記のとおり開催しました。終了後にオンライン懇親会を行い、部会報告内容の振り返りを行いました。

記

1 部会目的

国際開発課題を経済開発と社会開発の両面から捉えて、ミレニアム開発目標(MDGs)や持続可能な開発目標(SDGs)を含む国際開発枠組み及び人間の安全保障・人権・社会開発のような開発理念をアプローチし、そして貿易と開発、技術移転・技術開発の促進、産業集積と地域経済発展、貿易障壁の削減の諸課題を経済学的な視点から理論・実証・政策の側面から研究する。

2 開催日時

2021年(令和3年)11月27日(土) 15時00分～17時25分

3 開催会場

Zoom (Web会議)


4 研究報告会〔各報告25分、質疑応答15分〕 (敬称略)

司会者：陸 亦群 国際開発研究部会長・日本大学経済学部教授

○ 開会あいさつ(15:00～15:05) 部会長

- ・今回も多くの参加者を得て部会を開催できたことに感謝する。
- ・Zoomによって、全国どこからでも時間や移動距離の制約を受けることなく多くの方が参加しやすい環境が得られたと思う。今後も検討しながら部会の活性化を図っていきたい。

次第
1 開会あいさつ(15:00～15:05) 部会長
2 研究報告会〔各報告25分、質疑応答15分〕 (敬称略) 司会者：陸 亦群 国際開発研究部会長・日本大学経済学部教授
(1) 第1報告(15:05～15:45) 報告者：菊地原 正彦 日本大学大学院総合社会情報研究科 テーマ「ベトナムの経済成長の変遷と外資規制の影響に関する一考察」
(2) 第2報告(15:50～16:30) 報告者：村越 稔 日本大学大学院総合社会情報研究科 テーマ「シルクロード沿線地域の産業・貿易振興への日本の支援 —技術伝播の形態について—」
(3) 第3報告(16:35～17:15) 報告者：出雲 晃 日本大学大学院総合社会情報研究科後期修了 テーマ「高レベル放射性廃棄物問題をめぐる社会的合意形成 —処分施設の立地選定に向けた文献調査事例の比較分析—」
3 閉会あいさつ 日本大学大学院総合社会情報研究科 准教授 前野 高章



(1) 第1報告 (15:05~15:45)

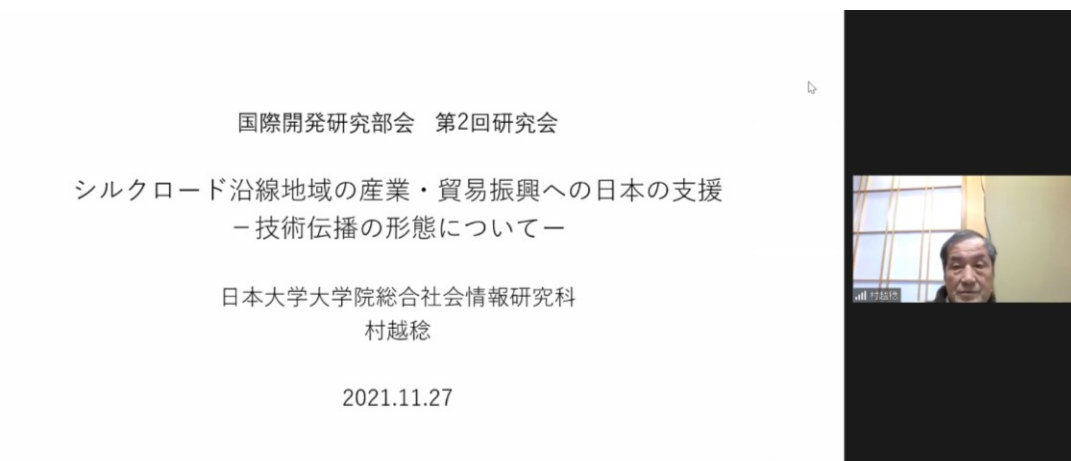
報告者：菊地原 正彦 日本大学大学院総合社会情報研究科
テーマ「ベトナム経済の成長の変遷と外資規制に関する一考察」



ベトナムは社会主義国でありながら市場経済を導入して経済成長している点に着目し、外資の投資規制撤廃と主に製造業への直接投資（FDI）によって経済成長が伸びたのではないかと考察した。

(2) 第2報告 (15:50~16:35)

報告者：村越 稔 日本大学大学院総合社会情報研究科
テーマ「シルクロード沿線地域の産業・貿易振興への日本の支援
—技術伝播の形態について—」



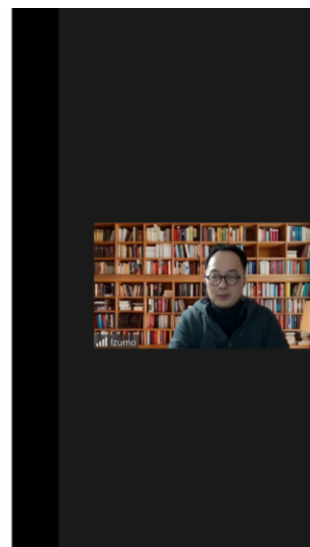
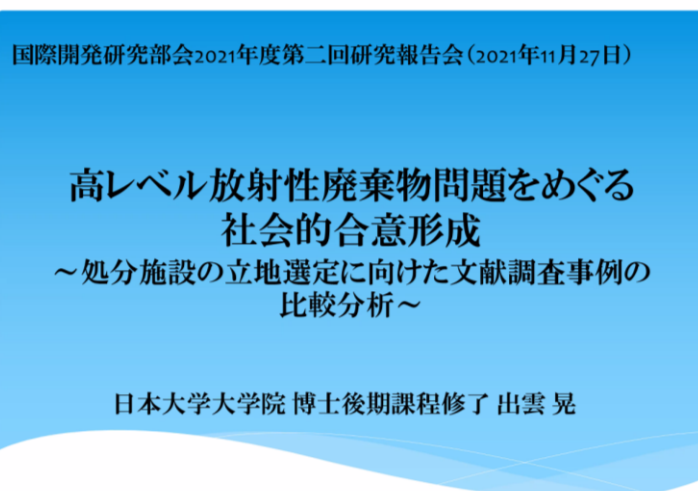
中国とヨーロッパの経済交流であるシルクロードに着目し、日本、中国、中央アジア地域の製造業における経済発展について考察した。

(3) 第3報告 (16:45~17:25)

報告者：出雲 晃 日本大学大学院総合社会情報研究科後期修了

テーマ「高レベル放射性廃棄物問題をめぐる社会的合意形成

—処分施設の立地選定に向けた文献調査事例の比較分析—



高レベル放射性廃棄物処分施設の立地選定において自治体に対して要求される文献調査をめぐる意思決定について、具体的事例を取り上げ、手続き的公正の観点から分析し、日本において高レベル放射性廃棄物問題をめぐる社会的合意形成を進めるに際し直面する課題を明らかにした。

○ 閉会あいさつ 日本大学大学院総合社会情報研究科 准教授 前野 高章

5 参加者

17名

